

ウォーカブルなまちづくりの活動 提案書

活動名	(仮称)GREEN UP TOKYO
提案者名	株式会社ノイラウム
提案者の所在地	東京都渋谷区猿楽町30番8号
【下記事項について記載してください。】 ○開催時期:2025年8月～9月頃 ○活動場所:秋葉原駅 電気街口 西側広場 ○目的:緑あふれるウォーカブルなまちづくりの実証実験 ○活動内容:夏季の暑い時期に、イベント形式で期間限定の疑似的な公園空間を都市の中心に作ることで、微気候が作り出す環境への影響と、人々の賑わいの創出を測る実証実験を実施し、中低木や高木などの樹木を一時的に都市空間へ配置し、アスファルトへの直射日光を遮り、気温低減の効果を検証します。 私たちは、緑豊かな環境が歩きやすく魅力的なウォーカブルなまちづくりにおいて、不可欠な要素の一つであると考えています。将来的には、都市の道路基盤の再整備を含めた街全体のデザインの刷新を目指しますが、まずは小規模かつ期間限定の実証実験を通じて、環境への実際の影響や、市民・関係者(ステークホルダー)の反応を丁寧に観察・検証します。 その結果をデザインへフィードバックしながら、段階的にスケールアップし、持続可能なまちづくりへと還元していく、民間主体のまちづくりのモデルケースとなることを目指しています。	
【開催までのスケジュールを記載してください。(企画の検討や周囲との合意形成等の準備期間を踏まえて)】 本企画は、「緑を増やすことで都市の気温を下げ、ウォーカブルなまちを実現する」ことを目的とした実証実験であるため、夏の暑さがピークとなる8月～9月頃の実施が望ましいと考えています。特に気温の高い9月中旬を実施期間と想定し、以下のスケジュールで進行する計画です。 ・2025年6月頃 企画立案・計画策定・資金調達に向けたヒアリング・関係各所との協議 ・2025年7月頃 計画内容の修正・資金調達の確定 ・2025年8月頃 実施計画の最終確定・発注・施工準備 ・2025年9月頃 現地での実証実験(イベント形式)実施 実施に向けては、行政・地域団体・事業者との連携を図りながら、合意形成と調整を丁寧に行ってまいります。	
【今回の活動を行いたいと思った理由を記載してください。(地域の課題やそれに対する解決策、まちに対する思い等を踏まえて)】 東京都全体の緑被率は52.5%と比較的高い水準にあるものの、23区内に限定するとその数値は24.2%まで下がり、特に都心部の緑の少なさが際立っています。なかでも千代田区の北東部に位置する秋葉原周辺では、緑被率が10%未満と極めて低く、真夏のアスファルトの蓄熱によるヒートアイランド現象が深刻です。このような環境下では、都市における快適な歩行空間の確保が難しくなっています。 一方、パリやシドニーといった世界の主要都市では、緑被率50%を目標に据え、都市インフラの見直しとともに、ウォーカブルで持続可能な都市環境の整備が進められています。東京が今後も世界都市としての競争力を高めていくためには、こうした国際的な動向も踏まえ、緑化とウォーカブルな都市空間の整備は不可欠であると考えています。 本活動は、緑の力でまちの環境を改善し、誰もが「こんな都市になったらいいな」と思えるような未来像を可視化することを目的としています。実証実験を通じて、都市の暑さを緩和し、人々の行動や意識に小さな変化のきっかけを与えること。それがやがて、本格的なまちづくりへとつながって	

いくと信じています。

秋葉原という多くの人を訪れる観光地だからこそ、その影響力と発信力を活かし、都市のあり方を見つめ直すきっかけをつくりたいと考えています。

【今回提案する活動の実施体制や役割分担、収支予定について記載してください。】

○実施体制・各主体や団体内の役割分担：

- ・株式会社ノイラウム：企画立案および全体デザインの統括
- ・造園会社：中高木等の樹木手配、搬入、施工、撤収までの現場施工全般
- ・協賛企業(スポンサー)：企業広告による資金提供、または樹木の買取等による支援

○収支予定：

本活動は、千代田区さまからの活動費用の支援(30万円)と合わせて、企画趣旨に賛同いただいた企業さまからのスポンサーシップによって実施します。企業広告掲載料および樹木の購入代金を組み合わせ、イベントの実施に必要な費用をまかなう想定です。

具体的には、樹木1本あたりの単価を設定し、その購入に応じた広告スペースやPR機会を企業に提供します。たとえば、現地でのネームサイン掲出や、公式SNS・広報媒体での紹介などを通じて、企業価値の向上にも貢献できる仕組みとします。

また、活動終了後に使用した樹木は協賛企業のオフィスや施設への植樹・設置も視野に入れ、持続的な緑の循環と企業との長期的な関係構築を図ってまいります。

【今回の活動後、継続的な活動を検討されている場合はそちらも記載してください。】

秋葉原地区には、中央通りの歩行者天国をはじめ、ウォーカブルなまちづくりに向けた高いポテンシャルがあると感じています。今回の活動を契機に、今後は車道空間も含めた歩行環境の再構築を視野に入れ、どのような形がより快適で持続可能な空間となるかを、段階的な実証実験を通じて検証し、まちづくりに貢献していきたいと考えています。

また、東京都政策企画局が推進する「TOKYO GREEN BIZ」など、100年先を見据えた都市緑化プロジェクトとの連携も視野に入れながら、公共空間だけでなく民間地も巻き込んだ継続的な取り組みを検討・協議中です。

これらの活動を通じて、秋葉原という一地域の取り組みにとどまらず、都心全体へと波及する持続可能なウォーカブルシティのモデルケースとなることを目指しています。

【今回提案する活動のポイントを記載してください。】

本活動は、民間主導によるまちづくりの一環として位置づけられ、地域との連携を深めながら、「住んでいる人のための街」を実現することを目的としています。

さらに、活動を継続的かつ毎年恒例のイベントとして定着させることで、徐々に規模を拡大しながら都市に対するインパクトを高め、やがては国内外から注目される観光コンテンツのひとつとして、秋葉原の新たな魅力創出と認知度向上に寄与することが期待されます。

加えて、周辺の再開発やディベロッパーを巻き込むことにより、地域全体に波及する形で、緑豊かなウォーカブルな都市空間を生み出す起点となることを目指しています。

本活動に採択された場合、実施するにあたって下記に同意していただく必要がございます。同意いただける場合は、各項目の□にチェックを付けてください。（同意いただけない場合は、採択いたしかねますのでご了承ください。）

- ☑募集要項に記載の「3 応募資格」および「4 活動の要件」を満たしていること
- ☑採択後に本活動の趣旨に明らかに適していないと区が判断した場合は、活動の支援を取りやめる可能性があること
- ☑今後のさらなるウォークアブルなまちづくりの推進に向けて、提案書や活動報告書等については千代田区のホームページ等にて公開するため、了承の上作成すること
- ☑今回の活動を機に、その後の活動の支援を確約できるものではないこと

※上記に加え、企画書や説明動画などの補足資料を添付していただいても構いません。